

平成26年度学校目標設定報告書（定時制）

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p><教育課程></p> <p>(1) 個に応じた学習指導の推進</p> <p>(2) 技能審査等を活用した三修制の推進</p> <p>(3) 人権教育の推進</p>	<p>(1)①生徒の特性、能力、取組みに応じて個別指導を行い、基礎学力の定着を図る。 ②日本語を母語としない生徒に対する個別授業を実施し、日本語の理解を深めさせる。</p> <p>(2)技能審査等による単位認定制度を生徒に周知するとともに、技能審査等の情報を提供する。</p> <p>(3)「いのちの授業」の一環として、「防災教育」(2月)と「いじめ防止教育」(3月)を実施し、他者への思いやりや自分を大切にすることを育む。また、入学年次に映画「めぐみ」のDVDを活用した人権教育を行う。</p>	<p>(1)①生徒の特性に応じた個別指導ができたか。 ②日本語を母語としない生徒に対して、きめ細かな学習指導をすることができたか。</p> <p>(2)技能審査等を活用し、単位修得した生徒の数が増加したか。</p> <p>(3)生徒の防災意識、人権意識が高まったか。</p>
<p><生徒指導・支援></p> <p>(1) 個々の生徒の状況の掌握と情報共有によるきめ細かな指導の推進</p> <p>(2) 問題行動の未然防止に向けた指導体制の整備</p>	<p>(1)①個々の生徒の家庭環境や心身の状況等を把握し、教職員同士の情報共有と共通理解を図る生徒支援の体制をつくる。 ②定期的にケース会議等を開催するなどの教育相談体制を整備し、スクールカウンセラーや外部関係機関、専門機関との連携を図る。 ③発達障害の理解と支援のあり方と「いじめ」に係る職員研修会等を実施する。</p> <p>(2)①計画的・組織的な校内外の巡回指導計画の策定と問題行動等の未然防止に努める。 ②ルールを守り互いを認め合うことで、集団への帰属意識を高める生徒指導・生徒支援を行い、自己肯定感や自律心を醸成する。</p>	<p>(1)①生徒情報の共有と共通理解を図る体制づくりができたか。 ②スクールカウンセラーからの情報提供及び定期的なケース会議の実施と必要に応じて外部機関や専門機関との連携が図ることができたか。 ③発達障害やいじめに対する職員の理解が深まったか。</p> <p>(2)①問題行動等の未然防止に向けた、計画的・組織的な校内外の巡回指導をすることができたか。 ②自己肯定感や自律の育成をめざした生徒指導・生徒支援をすることができたか。</p>
<p><学習指導・授業改善></p> <p>(1) 生徒の興味・関心を高める組織的な授業改善の推進</p> <p>(2) 個に応じた学習支援の推進</p>	<p>(1)生徒による授業評価や、観点別評価の「興味・関心」の項目の評価を分析し、生徒の興味・関心の高い授業をモデルとして、他の授業に活かしていく。</p> <p>(2) 学習面での到達度の違いを把握した上で教材等を工夫した授業実践と、夏季補習による個別の学習支援を実施する。</p>	<p>(1)2回目の生徒による授業評価で、学習への取り組みや授業への充実度を向上させることができたか。</p> <p>(2)個に応じた教材を作成するとともに、夏季補習を実施することができたか。</p>
<p><キャリア教育></p> <p>(1) 外部機関との連携によるキャリア教育の推進</p> <p>(2) 社会人として必要な道徳心の育成</p>	<p>(1) 外部講師による「産業社会と人間」の授業等により、キャリアについての意識を高める。</p> <p>(2) マナーアップ運動や生徒のボランティアによる地域貢献活動を通じて、道徳心の育成を図る。</p>	<p>(1)就職や進学に対する意識が向上し、積極的に選択した進路に向かうことができたか。</p> <p>(2)マナーアップ運動や地域貢献活動への参加者が増え、成果をあげることができたか。</p>
<p><地域等連携></p> <p>(1) キャリア教育と関連づけた地域貢献活動の推進</p> <p>(2) 特別活動の活性化による地域等との連携の推進</p>	<p>(1) 社会人としての存在意識を高めるために、就労体験やボランティア活動、地域清掃等の地域貢献活動を活性化させる。</p> <p>(2)①体育祭や文化祭などの生徒会行事の活発化とマナーアップ運動を継続実施により、地域との連携を図る。 ②北相地区定通球技大会や部活動による県高等学校定通大会等の公式戦への参加及び定通芸術作品展への積極的な参加体制づくりにつとめる</p>	<p>(1)就労体験やボランティア活動、地域清掃等の地域貢献活動を活性化することができたか。</p> <p>(2)①生徒会行事の活発化とマナーアップ運動の継続実施により、地域との連携を図ることができたか ②部活動の公式戦への参加や定通芸術作品展への積極的に参加体制づくりができたか。</p>
<p><学校運営・学校管理></p> <p>(1) 防災教育の推進</p> <p>(2) 職員の学びあいによる人材育成の推進</p>	<p>(1)定時制の状況や地理的状況を考慮した学習会など、実際に即した防災教育を進め災害に対する意識を高めていく。</p> <p>(2)教科をこえて他の職員の授業を見学するなど他の授業の良いところを取り込める研究授業や研修会を実施する。</p>	<p>(1)生徒の災害に対する意識を高めることができたか。</p> <p>(2)ベテラン職員の授業のノウハウを若い職員に伝えることができたか。</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力の定着と目的意識を持って学ぶ態度を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習支援 ・主体的に学ぶ姿勢の育成 ○個々の適性に応じたきめ細かな進路支援を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーを身に付けた人材の育成 ○生徒一人ひとりに応じたきめ細かく、粘り強い生徒支援を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解に努め、教育相談を有効に活用した指導 ・未然防止に重点を置いた指導 		